

科目分類	助産学実践科目 実践・関連		開講時期	1年 前期	
授業科目	周産期の診断と技術Ⅰ（妊娠期・胎児期）				
選択／必修	必修	単位数（時間数）	1単位	30時間	授業形態 講義
担当教員	木下 珠希 ・ 窪田 裕子 ・ 田中 真穂				
メールアドレス	t-kinoshita@tsuruga-nu.ac.jp(木下) y-kubota@tsuruga-nu.ac.jp(窪田) m-tanaka@tsuruga-nu.ac.jp(田中)	オフィスアワー	随時相談に応じます。 事前にメール連絡してください		

到達目標	<p>1) 妊婦・胎児の助産診断・技術について説明できる。</p> <p>2) 妊婦への援助技術について説明できる。</p> <p>3) 妊娠期の異常について説明できる。</p> <p>4) 妊婦への個別・集団保健指導の意義・必要性について説明できる。</p>
授業概要	妊婦の健康状態および妊娠経過にかかわる助産診断、妊婦の援助技術、妊娠期の異常と異常経過における妊婦のケアについて理解し、妊婦に対して適切な助産診断と援助技術を実践できる基礎的能力を養う。
授業内容	<p>第1回 助産診断・技術学とは</p> <p>第2回 妊娠期のフィジカルアセスメント ） 妊娠期の心理的・社会的変化とアセスメント</p> <p>第5回</p> <p>第6回 妊娠期の事例を用いた助産過程の展開 ） 妊娠期の基礎的援助技術</p> <p>第15回 個別・集団指導</p>
教科書・参考書等	<p>教科書：助産学講座2 基礎助産学（2）母子の基礎科学，医学書院 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ，医学書院 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ 妊娠期，医学書院 助産師基礎教育テキスト 2018年度版 第4巻 妊娠期の診断とケア，日本看護協会出版会</p> <p>参考書：荒木勤，最新産科学 正常編，文光堂 荒木勤，最新産科学 異常編，文光堂</p> <p>*授業内で適宜紹介する。</p>
成績評価基準・方法	筆記試験 70%、レポート 30%
履修要件	なし
留意事項・その他	看護基礎教育で学んだ知識が基本になっています。事前学習を行い、授業に臨んで下さい。